

No. 126

1月 '83

広報

と

人口
(11月末日現在)

世帯数	1,386 戸
人口	3,924 人
男	1,759 人
女	2,125 人

昭和 58 年 1 月 1 日 発行：愛媛県西宇和郡大平町 編集：企画調整課 08945 ㊟(2) 0111



1月15日は愛媛県知事選挙の投票日です

この選挙はこれからの4年間の県政を託す大切なものです。

良識ある投票をいたしましょう。

年頭の辞

瀬戸町長 坂本繁睦



新年明けましておめでとうと
言います。輝かしい昭和五十八
年の新春をご家族団らんで迎え
られたことと心からお慶び申し
上げます。

さて、新しい年、昭和五十八
年も私共を取り巻く情勢は昨年
以上に厳しいものになると極め
て憂慮しております。

国においては、石油ショック
以降、経済再建策として大量国
債発行をつづけてきましたが、
世界同時不況が長引く中、国内
経済は著しい収収不足を来し、
いまや国債残高は九十兆円を超
え、国民一人あたり八十五万円
の借金になろうとしています。

このような危機的財政状況の
もと、国では土光臨調によるこ
ころの「増税なき再建」をめざ

し、徹底した行政改革の推進を
図る一方、予算編成についても
五十七年度のゼロ・リーディングに
引き続き、五十八年度予算の編
成にあたっては五十七年度より
一、四パーセント増とする厳し
いものとなっております。このよ
うな国の方針は自主財源が五パ
ーセント弱の本町にとつては極
めて憂慮されるところで、すし
かし、こうした経済財政状況の
中でも多様化しております町民
要望に応え、地域社会の健全な
発展を図ってゆくことが私共
課せられた責務であり、意を凝
らして努力を傾注する覚悟で
ございます。

次に年頭にあたり所信の一端
を申し述べます。

交通体系の整備

地域開発の可能性を拡大し、
都市的機能の充実を図るため、
線道路の整備をおこないます。
まず、本町民にたいして悲願で
あり長年まち理んではいる国道
バイパスの全面開通には、県を始
め関係市町との連携により強力

に国に対し働きかけ、六十二年
度より遅れることのないよう努
力します。

又、地区間を結ぶ県道の整備
は三机港線の改良を始め、足成
から志津間を電線関係事業で、
志津以遠は県事業での改良を
県に対し強力に働きかける所存
です。

一方生活道路は、国道バイパ
スと地区間を結ぶルートを優先
とした整備を図ると共に、地区
内の道路整備についても、車
の入れる家々を目指したきめ細
かい道路行政の展開を図りたい
所存です。

豊かな産業振興のために

本町の基幹産業である柑橘産
業は、オレンジの自由化問題が
叫ばれる昨今、全国的な生産過
剩による価格の低迷と相まって
生産農家は今まさに、窮地に立
たされているのが現状です。

このような厳しい情勢の中、
本町が柑橘産地として生き残
るためには、地域特性を生かし
たところの適地適作を農協はも
とより関係機関連帯のもと強力
に推進し、高い生産性、収益性
を裏打ちされた新しい農業の確
立を図らねばならないと思いま
す。

この実現のためには、限られ

た農用地の有効利用を五十七年
度から農用地高度利用促進事業
を図るとともに、生産性を向上
させるため、集団化、品種更新
等生産条件の改善も推進しなけ
ればなりません。

とくに今後、農業経営の機関
車の役割りを果たす自立経営農
家の育成、後継者の育成に努め
る所存です。

▼水産業の整備については、現
計画にのっとり漁港の整備を進
める所存です。特に足成漁港は
改修計画が国に承認され、五十
八年度の局部計画のあと本格的
な港づくりはまいります。現
在実施しております魚のパー
ト及びアワビ等の養殖整備を積
極的に推進し、漁家所得の向上
を図りたい。

▼一方本町の商業については、
農漁業の低迷と著しい過疎化現
象の進行で消費の減少を招き、
また道路網の充実と車社会の進
展で、地域中心性が低下し消費
者の町外流出が高まっております。
商業振興を図るには、消費生
活の進化に伴い絶えず変化する
消費者ニーズを的確にとらえ購
買行動に対応した個店の経営と
商店街づくりを促進したいと思
います。

快適な生活環境を 整えるために

▼野村ダムからのパイプライン
は今日、八幡浜から保内町へと
工事を進行しており、本町への
給水は現計画では概ね昭和六十
二年度ごろとなっております。
そこで本町では今年度、現在
の基本計画を実施に移すための
詳細な計画書を作成したいと考
えております。

▼救急消防体制については、半
島地域住民長年の悲願でありま
したが、五十七年度から組織及
び施設等を整備し、昭和五十九
年度からスタートが決定されて
おります。

教育文化の向上のために
豊かな生活を導き、発展させ
る原動力は教育に負うところが
大であります。

教育は人間のもつ本質的価値
として人間形成をめざすもの
で、学校教育、社会教育の一層
の充実が望まれるところであり
ます。そのためには、すべての
人に対して教育の機会が用意さ
れ充実した、指導員、教職員、
家庭と社会とが強い協力のもとに
世代を問わず全人教育の途が
つとめられて教育環境づくりを推
進して行く所存です。

安心とやすらぎの 福祉のために

社会、家族意識の変遷など環
境変化の著しい今日、幼児から
お年寄りに至る住民がひとし
く健やかで文化的な生活をおく
るために心のふれ合う福祉行政
を進めなければなりません。

▼老人福祉については老人が孤
立することなく、人々から敬愛
され、健康と生きがいのある生
活が送れるよう社会参加の促進
や、生きがいの確保対策を社会
福祉協議会との連携のもと推進

年頭のあいさつ

瀬戸町議会議長 福島朝行



明けましておめでとうござい
ます。
昭和五十八年の年頭にあたり町
民の皆様は新春のお慶びを申し
上げます。

▼健康は人間が生活するための
基本的条件であり社会発展の根
幹をなすものであります。
しかしながら科学技術の進歩
機械文明の発展は快適な生活を
与える反面、運動不足やストレ
スの増大、片よった栄養摂取は
肥満や成人病などを増加させて
います。

幸い、今年二月一日から老人保
健法がスタートすることが決定
されました。この法の目的にそ
い八幡浜保健所との連携により
活発な保健活動の展開をおこな
いたいと思っております。

▼健康は人間が生活するための
基本的条件であり社会発展の根
幹をなすものであります。
しかしながら科学技術の進歩
機械文明の発展は快適な生活を
与える反面、運動不足やストレ
スの増大、片よった栄養摂取は
肥満や成人病などを増加させて
います。

幸い、今年二月一日から老人保
健法がスタートすることが決定
されました。この法の目的にそ
い八幡浜保健所との連携により
活発な保健活動の展開をおこな
いたいと思っております。

た。新しい年を迎えるにあ
たり今年こそは地方の時代への
動きを、単なるかた声に終わ
らせず「個性豊かな魅力ある地
域社会」を実現すべく決意を新
たにするとともに皆様方の一層
のご協力を期待しているところ
であります。「地方の時代」は
国から与えられるものではなく
自らの創意工夫でつくり出すも
のであると考えております。私
達自身も奮起を新たにしてい
れば、それぞれの地域を特色とし
た地域産業の育成、文化的特色の
発掘等に情熱を傾け知恵を出し
合っていけば開けてくる道は意
外にも広いものがあると信じま
す。このような町づくり地域づ
くりを推進するにあたって重要
なのは、人と組織が最大の能力
を発揮し得るような体制を整え
ることです。それには住
民の皆様との納得と支持が得ら
れるものでなければなりません。
は当然でありその意味では住民
を代表する議会において十分な
審議が望まれるところであり
ます。以上新年にあたり所感の
一端を申し述べました。一九八
三年が皆様にとりまして幸多い
年でありますよう祈念いたしま
して私のごあいさつといたしま
す。

我が家のアイドル

足成の山下教示 さんの長男 恵子



直樹くん
昭和56年9月12日生

お母さんが山へ行った後は、姉さんの絵梨子
ちゃんのおもりで遊んでいる。本をみると
2〜3時間1人で遊びますよ!! (将来は優等
生かな?)朝も快眠で6時30分起床です。

足成の田中利広 さんの長男 幸枝



浩一くん
昭和56年4月8日生

好き嫌いな食べ物なし
何でも食べます!!特にお汗が大好物。
オモチャの車に乗って遊んでいます。

12月定例町議会

▼提案理由を説明中の坂本町長



総額で
7,559万円

老人保健特別会計予算 一般会計予算など原案通り可決

第一六三回瀬戸町議会定例会は十二月二十五日開会、同日閉会されました。提案された議案は、瀬戸町老人保健特別会計予算、国民健康

- 大久から田部への林道の新設
- 三〇〇メートル
- 小島林道の舗装
- 佐市沖への魚礁投入(追加)
- 四十四個
- 町の無償バスの更新
- 川の浜漁港導流堤の新設
- 三十五メートル
- 川の浜東脇線の道路舗装
- 二〇〇メートル
- 小型ポンプ積載車購入
- 軽トラック、志津分団



一般会計 補正予算

歳入(はいつてくるお金)			歳出(つかうお金)		
款	補正額	合計	款	補正額	合計
町	14,340	89,429	議会費	△ 41	51,368
地方交付税	△32,403	898,000	会務費	△ 21,896	209,404
分担金及び	1,102	15,107	衛生費	△2,726	325,212
負担金	6,392	416,567	農務費	2,560	107,181
国庫支出金	13,759	320,991	衛生費	708	17,330
県支出金	31,800	291,200	労働費	21,870	515,369
町			農林水産費	△3,357	271,859
			土木費	2,960	37,120
			消費費	△ 611	150,915
			災害復旧費	11,731	192,049
計	54,990	2,124,923	計	54,990	2,124,923

老人保健法特別会計

歳入(はいつてくるお金)			歳出(つかうお金)		
款	予算額	合計	款	予算額	合計
支基金	10,101		総務費		187
国庫支出金	2,965		業務費		14,409
県支出入	718		諸費		3
繰入金	809		医療予		1
繰入金	1				
雑収入	6				
計	14,600		計		14,600

国民健康保険特別会計(事業勘定分)

歳入(はいつてくるお金)			歳出(つかうお金)		
款	補正額	合計	款	補正額	合計
国庫支出金	1,000	296,146	総務費	△1,766	11,578
			保険給付費	△4,762	270,250
			諸支	1,000	6,606
			老人保健		
			費	6,528	6,528
計	1,000	296,146	計	1,000	296,146

国民健康保険特別会計(直診勘定分)

歳入(はいつてくるお金)			歳出(つかうお金)		
款	補正額	合計	款	補正額	合計
診療収入	3,223	70,632	総務費		1,567
雑収入	1,000	22,469	業務費		3,533
諸収入	777	788	施設整備		△100
計	5,000	94,190	計	5,000	94,190

合計欄には補正分の款のみであり単純合計とは差異があります。 単位：千円

田部-国道バイパス間 グリーンラインで直結1,540メートル

八幡浜まで「35分」に 61年開通

林産資源の開発、発と、生活道路等多面の性格をもつ田部-大久間林道が町の主要施策のもとで、57年度から工事が進められております。

この道路は、大久から田部間の旧道をかたどって、新国道から児童集会所前の県道まで新設するものです。全部の延長は一千五百四十メートル、巾員は四・〇メートル、開通時期は昭和六十一年の見込です。

この路線と新国道の六十二年開通時には、田部地区から三机までの自動車での所要時間は、現在の四十分から十五分に、又、八幡浜市までの時間距離は三十五分と大巾に短縮されることとなります。



トレーニング用具をそろえました 積極的なご使用を

みなさんが待ち望んでいたスポーツ用具、トレーニング用具を自治宝くじの助成によりこの地域におけるスポーツ活動の購入用品のおもなもの

強化と体力の向上を図るべく、中央公民館と四ツ浜、三机両体育館に配置しましたのでお気軽にご利用下さい。

配置場所	備品名	数量
中央公民館(三机)	ソフト用具	一式
	軟式野球用具	一式
	ゲートボール用具	1セット
四地区体育館	バドミントン用具	一式
	バドミントン用具	一式
	バレーボール	10個
三机地区体育館	自転車	3台
	トレーニング用具(自転車・ぶらさがり)	一式
	健康器・腹筋用具	一式
三机中学校グラウンド	バドミントン用具	10個
	バレーボール	3台
四ツ浜中学校グラウンド	自転車	3台
	ピッチングマシン	1台

喜びの声
大久公民館主事(宮本敏光)





今までは道具も古く数も少なかったが、今回の購入により利用者が増えて大変喜ばしい。今後は、素人ばかりのため使用法、練習方法(トレーニング用具等)が分からないので、町においては指導者の育成等指導面での充実を期待します。もっともっと積極的に利用を。



トレーニング利用中
四ツ浜地区体育館において

21億円使った

町税と住民負担の状況

固定資産税  1人当り 8,348円 1世帯当り 23,795円	町民税  1人当り 10,362円 1世帯当り 29,551円
電気税  1人当り 1,152円 1世帯当り 3,286円	たばこ消費税  1人当り 2,947円 1世帯当り 8,405円
その他 1人当り 0円 1世帯当り 0円	軽自動車税  1人当り 395円 1世帯当り 1,126円
合計 1人当り 28,199円 1世帯当り 66,168円	

性質別歳出のうちわけ



町有財産はこれだけあります

種別	面積
宅地	169,717 m ²
山林	29,518 m ²
池沼	13 m ²
建物	29,622 m ²

特別会計の状況

住宅新築資金等貸付事業	港湾整備事業	土地取得	簡易水道	直診勘定	事業勘定
 予算現額 24,551円 収入済額 28,709円 支出済額 22,817円 差引 892円	 予算現額 11,686円 収入済額 11,401円 支出済額 11,401円 差引 0	 予算現額 2,518円 収入済額 2,195円 支出済額 2,195円 差引 0	 予算現額 16,663円 収入済額 15,976円 支出済額 15,976円 差引 0	 予算現額 95,011円 収入済額 76,258円 支出済額 92,727円 差引 16,469円	 予算現額 279,583円 収入済額 270,939円 支出済額 256,313円 差引 14,626円

町の台所 昭和56年度決算報告

地方自治法第233条第5項の規定により昭和56年度の本町の財政状況を次のとおり公表します。

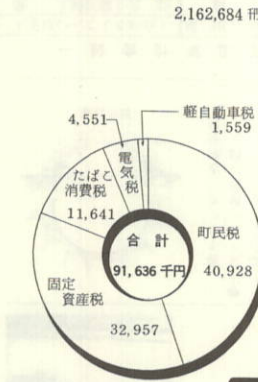
昭和57年12月25日

瀬戸町長 坂本繁睦

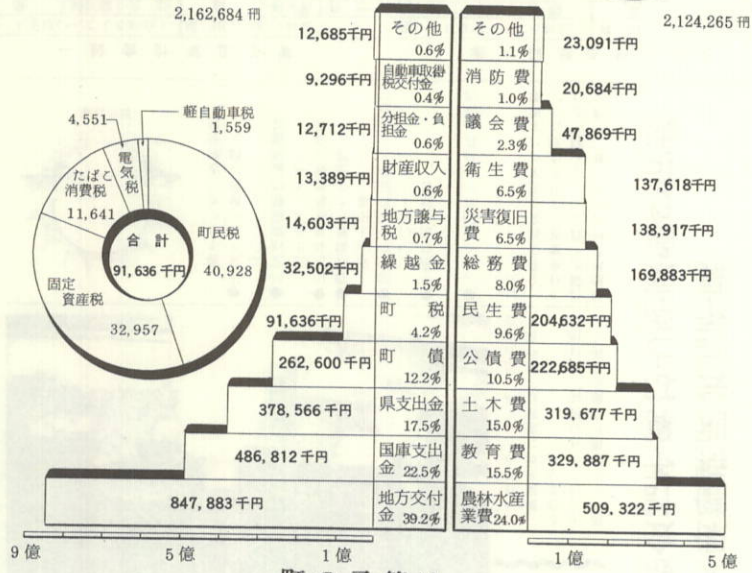
昭和56年度のが町の家計簿はどうなっているでしょうか。去る12月議会で、歳入歳出決算が承認されましたので、これらの内容についてお知らせします。一般会計では、歳入決算額が、2,162,684,000円、歳出決算額が、2,124,265,000円で、38,419,000円の黒字決算となりました。まずはその中身をぐらんぐださい。

総務課財政係

歳入



一般会計



町の予算は
みなさんのために

一世帯当り
1,533,765円
使われています



一人当りにすると
537,789円
使われています

君かやわさ

対局



末長く
お幸せに



昭和五十七年
十一月分

人々のうごき

お
く
ゆ
み

お
願
生
お
め
で
と
う



四月の課題成から広報係となり、早くも十カ月日となりました。広報取材に際しては、皆さまの積極的なご協力を得て、由

編集室よの

がりなりににも発行できたことを感謝しております。今年も、ただ単にお知らせ板ではなく住民のための広報、住民が知りたい広報を目指し、決意も新たにしておりますので、絶大なご支援ご協力を又ご意見をお願いいたします。

有段を目指して

詰書

白先 九段 武宮 正樹
黒先 二級 三浦 洋一
●ヒンドーあわてハニ子
を取らんたい。

3分て初段、5分て2級

詰書

白先 八段 北村 昌男
●ヒンドーあわてハニ子
を取らんたい。

3分て初段、10分て3級